

資料1

全校でのアセスメント・学級経営への支援  
アセスメントの手順

- 手順 1 担任より「学級の見立て」をもとに説明
- 2 担任への質疑応答
- 3 「この学級の現状について考えられること」を一人一人が付箋紙に記入する。(何枚でも自由に)
- 4 一人ずつ書いたことを発表しながら模造紙の上に置いていく。
- 5 ブレーンストーミングの後、「この学級をこんなふうにとらえました」とまとめる。  
下記「学級の現状のとらえ」参照
- 6 この学級の問題点をどうしたら改善できるかを全員が付箋紙に記入する。  
(付箋紙の色は、「授業の進め方のポイント」「学級活動展開の工夫」「担任教師のリーダーシップのポイント」「授業時間外に必要な対応」「学校組織のサポート・学年連携の仕方」「保護者への説明・協力体制のあり方」で分けて記入する。)
- 7 ブレーンストーミングで類別する。 下記「とらえ」を受けての「手だて」参照
- 8 担任は「手だて」の中からやっていきたいものを2つ選び2ヶ月続ける。
- 9 シェアリングをする。 約束：担任批判は絶対にしない。

「学級の現状のとらえ」



「とらえ」を受けての「手だて」



教師の声 (シェアリングから)

Q - U を実施したことで、満足群にいない児童 (特に普段は目立たない児童) のことを意識して見ていきたいという気持ちが芽生えた。

この方法は、おもしろい。いろいろな学級の様子がよくわかるし、手立てもみんなで作られるところがよい。

学級についての Q - U の図と「担任が作成した学級の見取り」を手がかりにグループで学級を見とれることや学級経営のいろいろなアイデアがもらえて勉強になった。